

## 日本 ADHD 学会第 15 回総会開催報告

大会長 山梨大学医学部小児科 加賀 佳美

日本 ADHD 第 15 回総会は、東京都新宿区にある東京医大病院臨床講堂をお借りしまして、2024 年 3 月 2 日、3 日に開かれました。コロナ禍後の現地オンラインのハイブリット開催であり、参加人数の減少も危ぶまれましたが、おかげさまで 284 名の参加登録者、現地来場 106 名をお迎えし、無事盛会裡に終了することができました。この学会は名称の通り、ADHD に特化した学会であり、2 日間 ADHD について最新のトピックから基礎から臨床まで、小児科医、精神科医が語り合う学会となっています。また、当学術集会におきましては、「咲かせよう、それぞれの未来」と題しまして、ADHD の患者様に寄り添ったテーマを中心に特別講演 3 題、シンポジウム 3 つ、一般演題 6 題、企業セミナー 3 つの内容の濃いものとなり、参加者の皆様の知識とご経験の交流の場として大変有意義な討議を行うことができました。学会の助成をしていただいた山梨大学医学会の御助力に厚く御礼を申し上げます。

### 開催概要

日本 ADHD 学会第 15 回総会

目的 テーマを『咲かせよう、それぞれの未来』とし、臨床・基礎・社会医学、の領域で活躍中の専門家を招聘して討論し、ADHD の研究、ADHD 医療の発展と国民の健康向上に貢献することを目的とする。

会長 加賀 佳美（山梨大学医学部小児科学講座、てんかんセンター）

開催期間 2024 年（令和 6 年）3 月 2 日（土）・3 日（日）

開催場所 東京医科大学病院臨床講堂（東京都新宿区）

参加登録費 会員 7000 円 非会員 8000 円

参加人数 284 名（現地 106 名）

公式ホームページ <https://www.js-adhd.org/js-adhd-15meeting/>

# 日程表

	第1日目(3月2日)ハイブリッド	第2日目(3月3日)ハイブリッド	オンデマンド配信
9:00		<b>9:00-10:00 特別講演2</b> 座長 小枝 達也(国立成育医療研究センター小児内科系専門診療部) <b>「ADHDと限局性学習症(SLD)」</b> 演者: 稲垣 真澄(鳥取県立鳥取保育園)	3月9日(土)12:00～ 3月31日(日)12:00まで ・会長講演 ・特別講演 ・シンポジウム ・一般演題
10:00		<b>10:05-11:35 一般演題</b> 座長 小坂 浩隆(福井大学医学部精神医学) 門田 行史(自治医科大学小児科) O1 森 貴俊(心療内科新クリニック) O2 本郷 誠司(南湖こころのクリニック) O3 高橋 長秀(名古屋大学医学部附属病院院と子どもの心療科) O4 若林 慶(自治医科大学小児科) O5 若松 宏実(山梨大学医学部小児科) O6 佃 万里(関西医科大学医学部精神神経科)	
11:00		<b>11:45-12:45 ランチョンセミナー2</b> 座長 岡田 俊(奈良県立医科大学精神医学) <b>「ADHDの最近の話題とStimulant(リスデキサンフェタミン)の位置づけ」</b> 演者 高橋 長秀(名古屋大学医学部附属病院精神科・観と子どもの心療科) 共催: 武田製薬工業株式会社	
12:00	12:20～12:50 理事会(会場開催)		
13:00	13:00-13:10 開会の挨拶	12:55-13:15 総会	
	<b>13:10-14:10 ランチョンセミナー1</b> 座長 小野 和哉(聖マリアンナ医科大学神経精神科) <b>「ADHDの診断・評価における小児期、成人期の工夫」</b> 演者 佐々木 剛(千葉大学こどものこころ診療部)	<b>13:15-14:45 シンポジウム2</b> <b>ADHDのバイオマーカーを探る</b> 座長 岡田 俊(奈良県立医科大学精神医学) 門田 行史(自治医科大学小児科) <b>「事象関連電位から追えるADHD」</b> 演者 太田 豊作(奈良県立医科大学人間発達学) <b>「ADHDと実行機能」</b> 演者 安村 明(熊本大学大学院人文社会科学学研究所) <b>「自覚反応からみるADHDの情動機能」</b> 演者 青柳 開郎(山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科) <b>「成人期注意欠如多動性障害(ADHD)における脳画像研究と聴覚事象関連電位」</b> 演者 板垣 俊太郎(福島県立医科大学医学部神経精神医学)	
14:00	共催: ヤンセンファーマ株式会社		
	<b>14:20-14:50 会長講演</b> 座長 小野 和哉(聖マリアンナ医科大学神経精神科) <b>「ADHDの多様性、オーダーメイドの評価法と支援に向けて」</b> 演者 加賀 佳美(山梨大学医学部小児科)		
15:00	<b>14:50-15:50 特別講演1</b> 座長 石崎 優子(関西医科大学小児科) <b>「医療における子どもの権利を考える～コロナ禍で見直す 子どもアドボカシーの視点～」</b> 演者 田中 恭子(国立成育医療研究センターこころの診療科)	<b>14:50-15:50 特別講演3</b> 座長 市川 宏伸(一般社団法人日本発達障害ネットワーク) <b>「司法の中のADHD: 反抗挑戦症、実行症への治療的アプローチ」</b> 演者 安藤 久美子(聖マリアンナ医科大学神経精神科)	
16:00	<b>15:55-17:25 シンポジウム1</b> <b>ADHDの忘れてはならない併存症</b> 座長 金生由紀子(東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野) 中村 和彦(弘前大学大学院医学研究科神経精神科) <b>「ADHDの忘れてはならない併存症—てんかん—」</b> 演者 金村 英秋(東邦大学医療センター佐倉病院小児科) <b>「ADHDの併存症・鑑別疾患としての聴覚障害」</b> 演者 堀内 史枝(慶応大学医学部研究科児童精神科) <b>「ADHDとチック症」</b> 演者 金生由紀子(東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野) <b>「ADHDと発達性協調運動症」</b> 演者 北 洋輔(慶應義塾大学文学部心理学専攻)	<b>15:55-17:25 シンポジウム3</b> <b>ADHDの心理・社会的支援</b> 座長 松田 文雄(医療法人翠星会松田病院) 宮島 祐(東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科) <b>「親子相互交流療法(PGIT)、子どもと大人の絆を深める(CARE)」</b> 演者 細金 奈奈(総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科) <b>「ゲーム依存とADHDの関連について」</b> 演者 松崎 尊信(国立病院機構久里浜医療センター精神科) <b>「思春期における心理社会的治療」</b> 演者 岩重 貴貴(駒木野病院精神科) <b>「神経発達症の相談支援・診療の特長期間短縮化にむけた取り組み」</b> 演者 後藤 裕介(山梨県立こころの発達総合支援センター)	
17:00		17:25 優秀発表賞発表・授与 / 閉会の挨拶	
18:00	<b>17:35-18:35 イブニングセミナー</b> 座長 小坂 浩隆(福井大学医学部精神医学) <b>「小児期の神経発達症診療における小児科医と精神科医による協働            ～Stepped Care Systemの構築を目指して～」</b> 演者 桑原 斉(埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科) 共催: ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディカルホールディングス		
	18:45～懇親会(東京医科大学大学院 職員食堂)		
19:00			